

第2報 趣味・スポーツ・社会的活動と余暇享受能力

○昭和女大女文研 伊藤セツ 同短大 天野寛子 森ます美 瀬沼頼子

日本女子大(非) 天野晴子 昭和女大(院) 堀内かおる 大船高校(非) 井野上眞弓

目的：人生70万時間時代の余暇の使い方が生涯生活設計とのかかわりで問題にされ、人は、生涯にわたる余暇享受能力も必要とされるようになった。本報では世田谷区での調査結果を用いて社会的・文化的生活時間の分析を試み、余暇享受能力形成の条件を考察する。

方法：調査方法、調査対象の特徴は、第1報に同じ。生活時間調査に付帯して、総務庁「社会生活基本調査」の項目をもとに、趣味48項目、スポーツ40項目、社会的活動20項目をあげ、それらへのくかかわりの状況>を質問し、夫妻別に時間要因を考慮して分析した。

結果：社会的・文化的生活時間の夫妻別週推計は、表の通りである。余暇享受能力形成の一指標である、趣味・スポーツ・社会的活動の行為者率は、調査日3日間にそれぞれ、夫、56%、40%、19%、妻、52%、18%、34%と、妻のスポーツ活動および夫の社会的活動の参加が低い。さらに、現在楽しんでいる趣味・スポーツの種類は、それぞれ、夫、8、3、妻、8、2、であるが、夫の場合、土曜日が休みの者は、それぞれ9、4、となり、かける時間も2-3倍に増える。また、今後行いたい社会的活動では、夫妻ともに地球自然環境を守るグループへの参加が多い。

夫妻の社会的文化的な生活時間 週推計(単位：時間、分)

	夫	妻		
		無職	パート	常勤
生理的生活時間	76.01	76.46	74.20	72.37
収入労働時間	56.13	0.47	29.32	48.43
家事的生活時間	2.33	45.55	30.47	20.32
社会的文化的な生活時間	33.14	44.32	33.21	26.08
テレビ/ラジオ	8.25	9.56	7.10	5.19
新聞/雑誌	3.20	3.49	4.24	1.52
読書	1.58	2.13	1.55	1.49
趣味/娯楽	2.58	3.57	2.08	3.49
学習/研究	0.51	1.29	0.25	1.53
スポーツ	1.23	0.37	0.36	0.50
団らん/家族	2.41	5.56	5.19	3.59
つきあい/交際	4.51	6.08	1.29	1.26
社会的/消費者活動	0.45	2.18	2.05	0.56
信仰/宗教的活動	0.15	0.44	1.04	0.00
移動	4.20	5.27	3.51	3.19
その他	1.27	1.58	2.55	0.56
合計	168.00	168.00	168.00	168.00